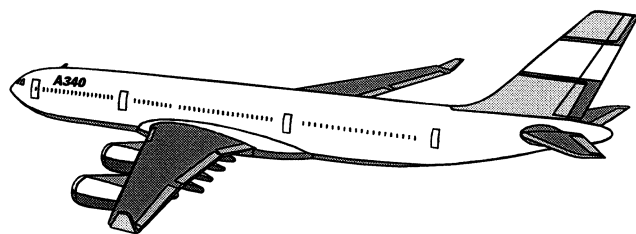


Registered Customs Specialist

TAC 通関士講座

無料公開セミナー

関税法 重要ポイントセミナー



TAC

1 関税法上の用語の定義

輸入→外国貨物を本邦に引き取ること

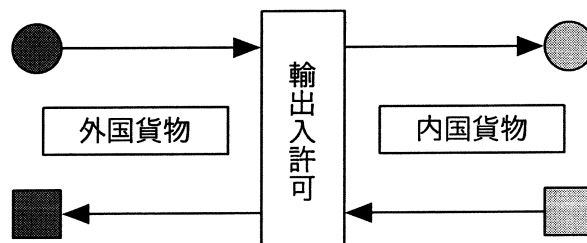
輸出→内国貨物を外国に向けて送り出すこと

外国貨物→

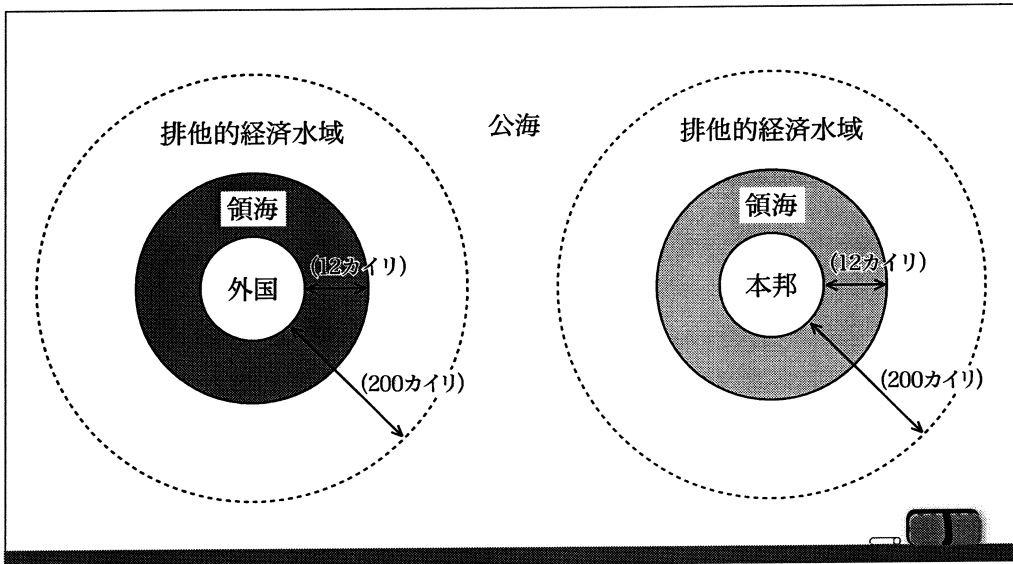
- ① 輸出の許可を受けた貨物
- ② 外国から本邦に到着した貨物（外国の船舶により公海で採捕された水産物を含む）で輸入が許可される前のもの

内国貨物→

- ① 本邦にある貨物で外国貨物でないもの
- ② 本邦の船舶により公海で採捕された水産物

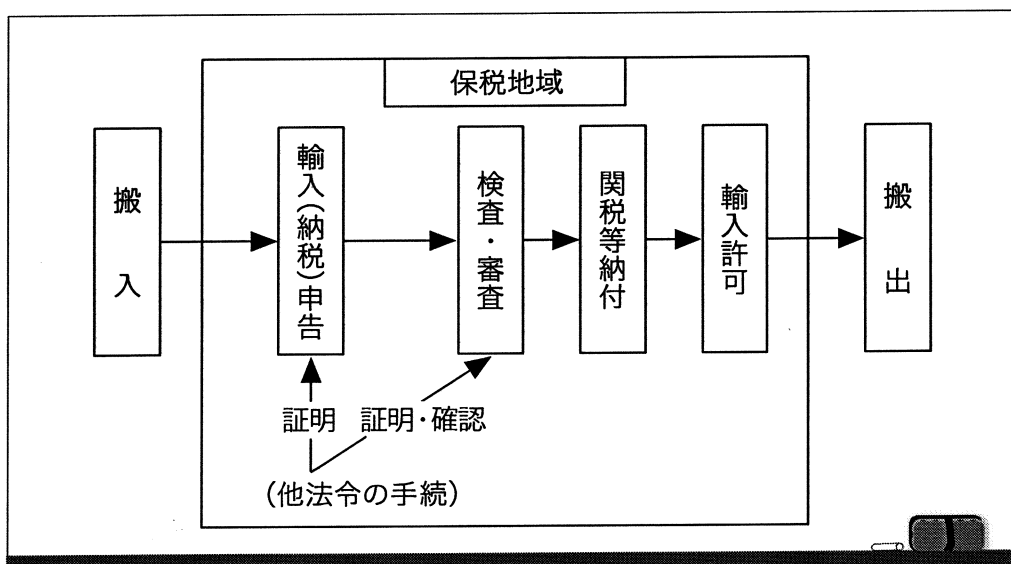


水産物について



2 輸入通関

原則的な輸入通関手続の流れ



輸入（納税）申告書に添付する書類

① 課税標準の決定のための書類

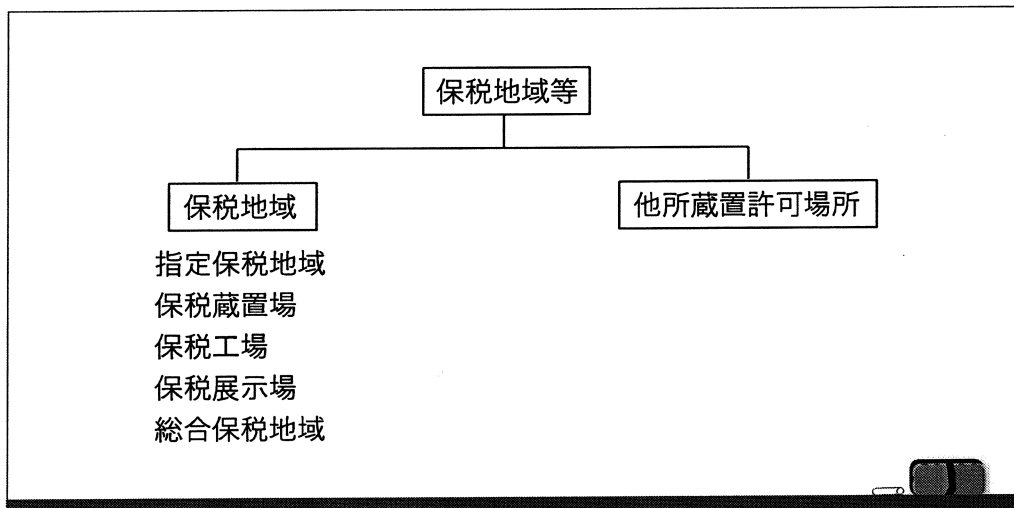
- イ 仕入書
- ロ 契約書, 保険料明細書, 価格表 etc.

② 関税についての便益を適用するための書類

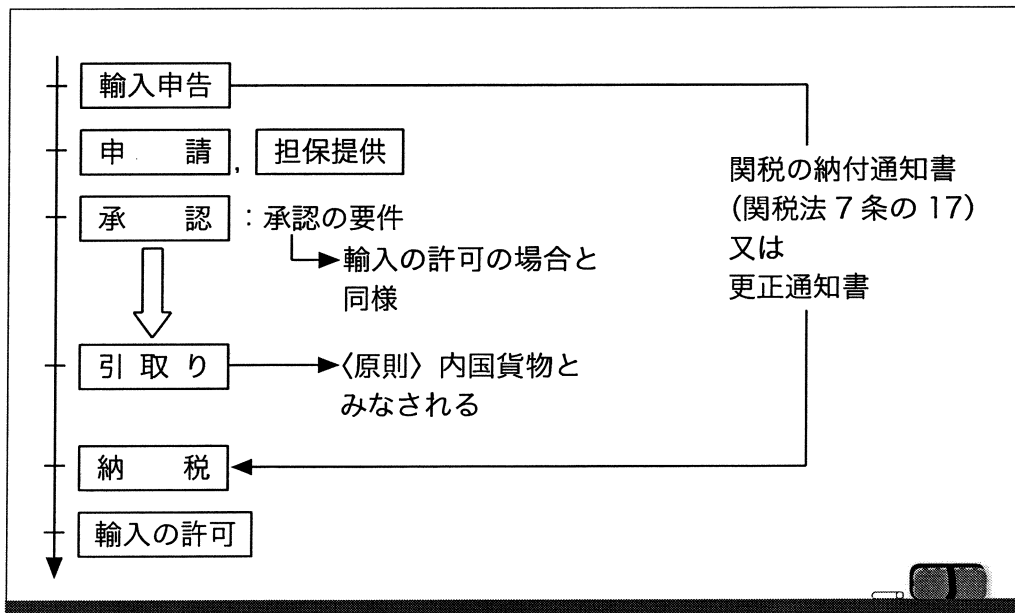
- イ 協定税率, 便益関税→原産地証明書
- ロ 経済連携協定→締約国原産地証明書

保税地域

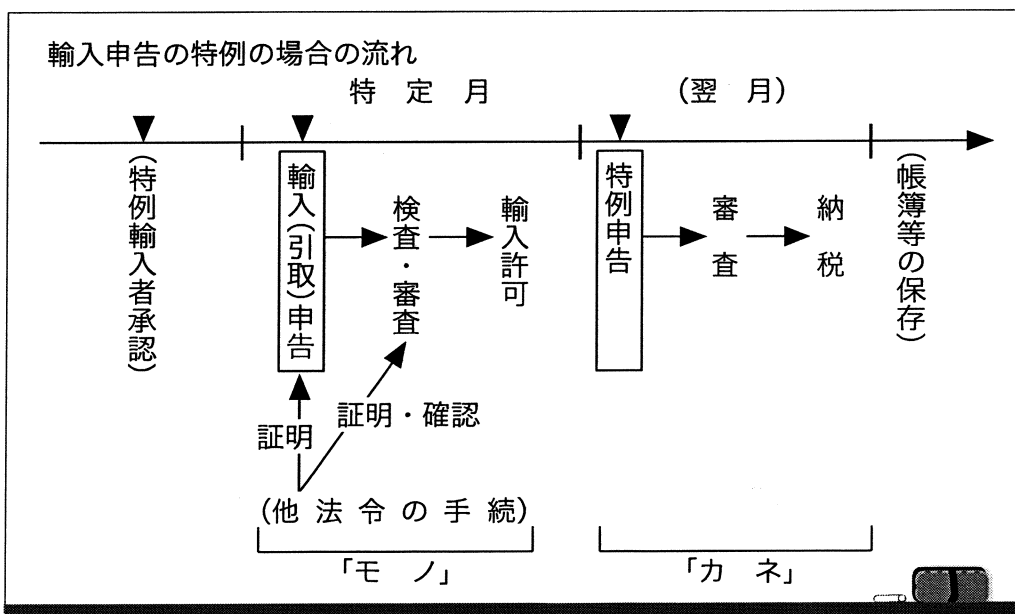
種類	設置の態様	主要機能
指定保税地域	財務大臣の指定	一時蔵置（1月以内）
保税蔵置場	税関長の許可	長期蔵置（2年以内）
保税工場	税関長の許可	加工，製造
保税展示場	税関長の許可	展示，使用
総合保税地域	税関長の許可	長期蔵置（2年以内） 加工，製造 展示，使用



〓 輸入の許可前における貨物の引取り（輸入許可前引取承認） 〓

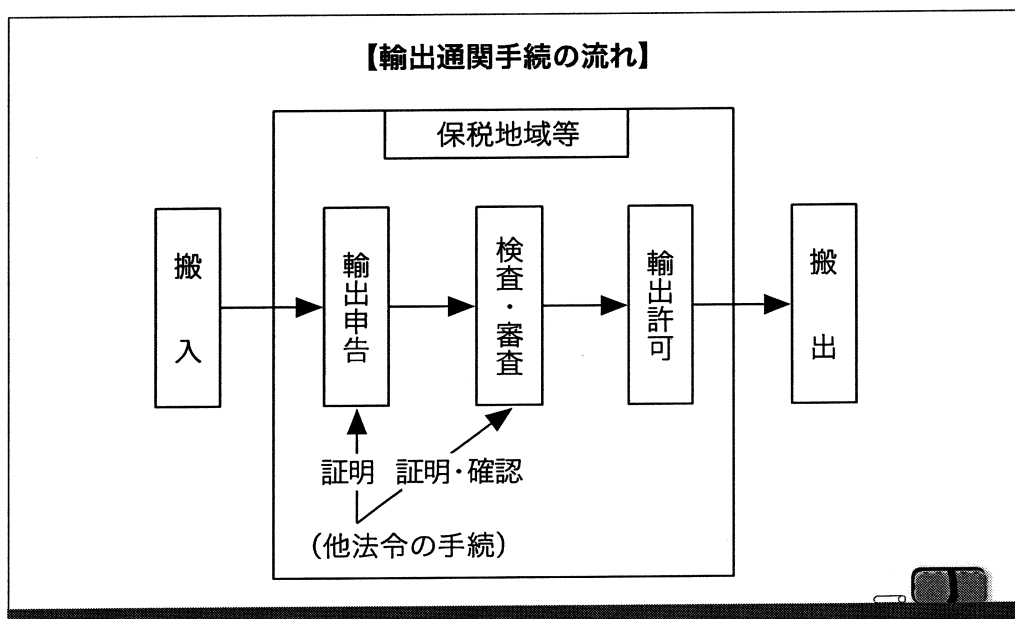


〓 輸入申告の特例 〓



3 輸出通関

原則的な輸出通関手続の流れ



輸出申告の特例

貨物を輸出しようとする者であらかじめ税関長の承認を受けた者（**特定輸出者**），輸出の手続を認定通関業者に委託した者（**特定委託輸出者**）又は**認定製造者**が製造した貨物を取得して輸出しようとする**特定製造貨物輸出者**は，**申出**をすることにより，貨物を**保税地域等**に搬入することなく，自社の倉庫等で**輸出申告**を行うことができる。輸出貨物の迅速かつ円滑な船積（積込）が可能となり，リードタイム及び物流コストの削減等を図ることができる。まずは次の2点に注意しておいてほしい。

- ① **特定輸出申告，特定委託輸出申告及び特定製造貨物輸出申告の3つの制度がある**
- ② **保税地域等へ搬入することなく輸出申告を行える**

4 保税運送

保税運送（原則）

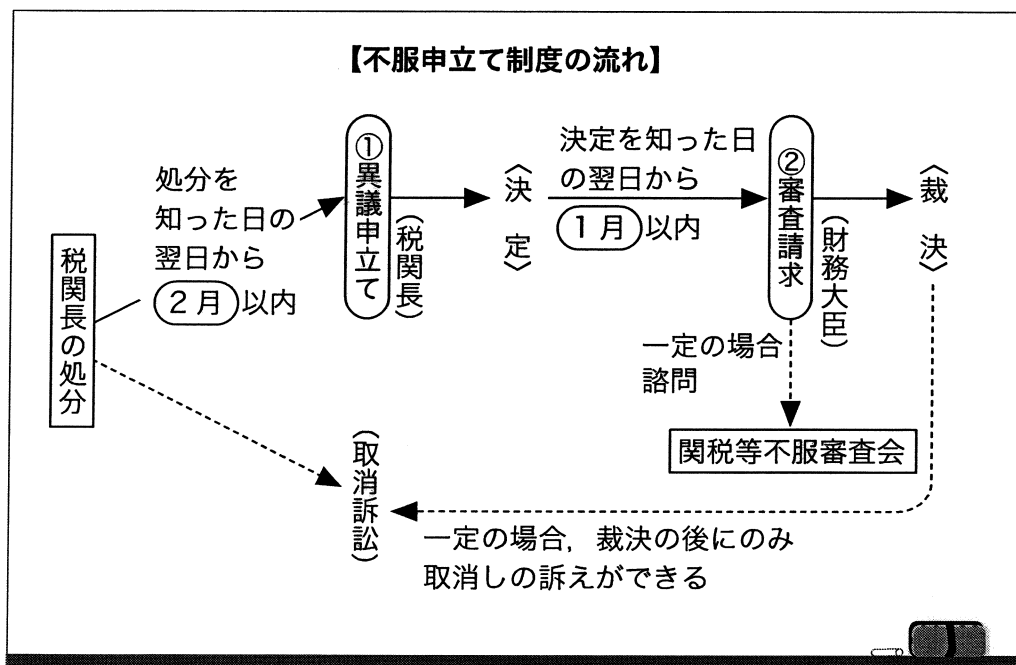
外国貨物は、税関長に申告し、その承認を受けて、本邦内の一定の場所（開港、税関空港、税関官署、保税地域等）相互間に限り、**外国貨物のまま運送**することができる。外国貨物のまま、関税を留保して運送することから、これを保税運送と呼んでいる。

保税運送の特例（特定保税運送）

貨物のセキュリティ管理とコンプライアンスの体制が整備された運送者のための制度であり、これを利用することにより、簡易な手続で保税運送を行えるようになる等の特例措置を受けることが可能となる。

具体的には、あらかじめ税関長の承認（**特定保税運送者の承認**）を受けた者が特定区間において行う外国貨物の運送（**特定保税運送**）については、個々の保税運送の承認を受けることを要しない。

5 不服申立て



6 課税価格

関税額の計算の例

例 1

$$2,000 \text{ L} \times 100 \text{ 円/L} = 200,000 \text{ 円} \cdots \cdots \text{従量税 (数量が課税標準)}$$

例 2

$$100,000 \text{ 円} \times 30\% = 30,000 \text{ 円} \cdots \cdots \text{従価税 (価格が課税標準)}$$

==== C I F 価格と課税価格の決定方法 =====

